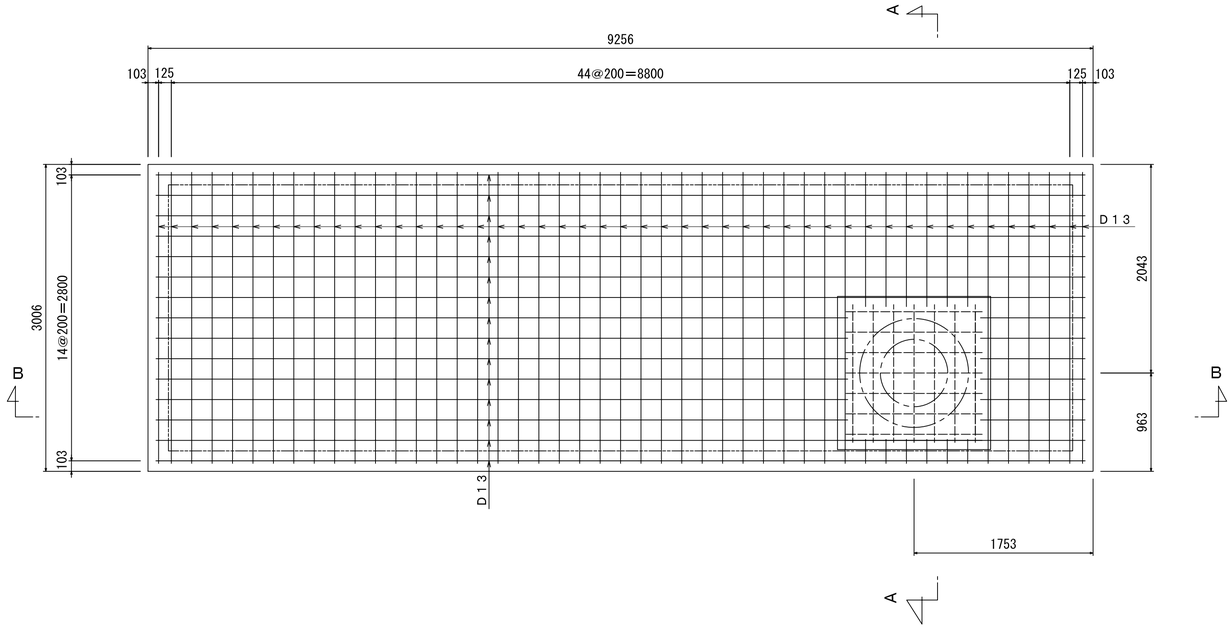
二次製品耐震性貯水槽（４０m³）　基礎コンクリート構造図　S＝1／30

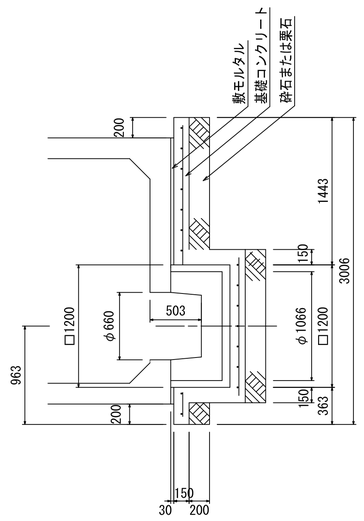
材料強度		単位　N／mm²
コンクリート	設計基準強度	f'ck＝　24
	許容応力度	σca＝　9
鉄　筋	許容応力度	σsa＝180

平　面　図

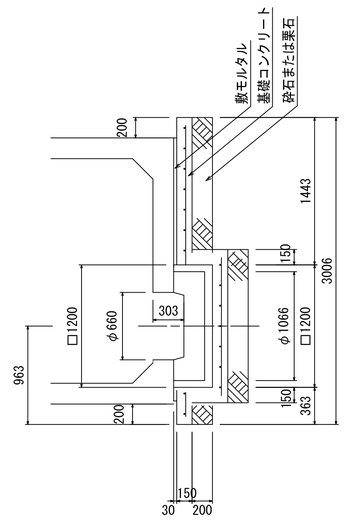


A－A　断　面　図

ピット内の深さｈ＝５０３mmの場合

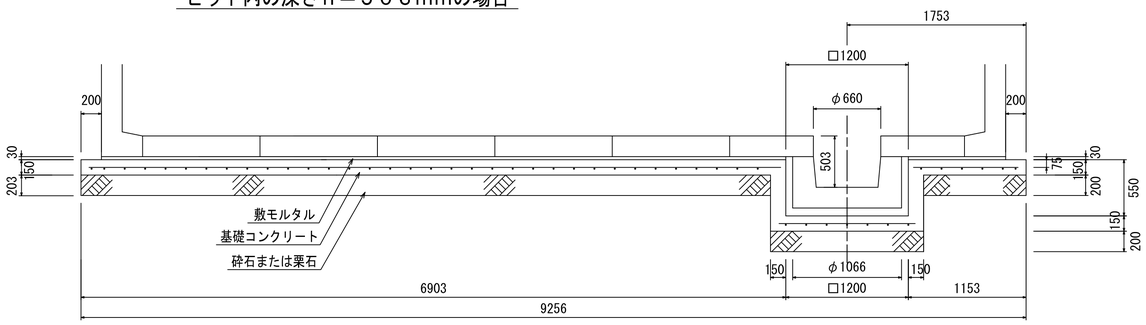


ピット内の深さｈ＝３０３mmの場合

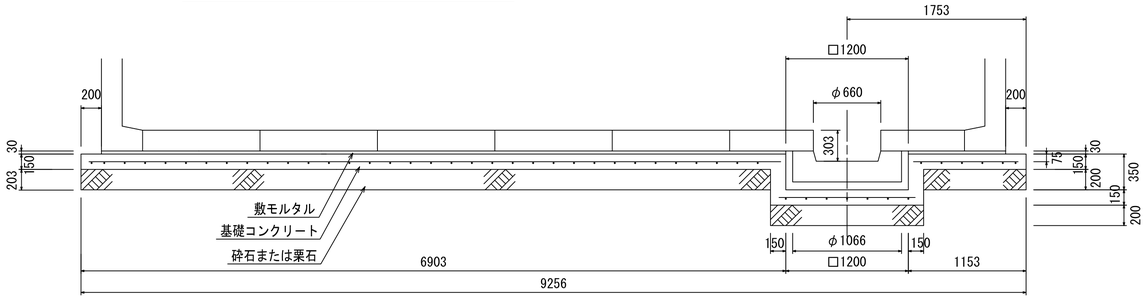


B－B　断　面　図

ピット内の深さｈ＝５０３mmの場合



ピット内の深さｈ＝３０３mmの場合



基礎コンクリートについて

基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート（無筋コンクリート）を基本とし、地盤が比較的柔らかい（中位のもの）場合、砂質地盤でＮ値が５以上１０未満、または粘土質地盤でＮ値が５以上８未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。また、基礎地盤のＮ値が５未満の場合は検討を要する。

無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基づくものとする。

（参考）　基礎地盤のＮ値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	Ｎ　値	基礎コンクリート
砂質地盤	１０以上	均しコンクリート（無筋コンクリート）
	５以上１０未満	鉄筋コンクリート
	５未満	検討が必要
粘土質地盤	８以上	均しコンクリート（無筋コンクリート）
	５以上８未満	鉄筋コンクリート
	５未満	検討が必要

＊鉄筋は、ＳＤ２９５またはＳＤ３４５を使用する。